

式 辞

皆さん、入学おめでとうございます。本日、ここに鹿児島高専に入学された本科208名および専攻科29名、並びに1名の編入学生と3名の留学生の皆さんに、鹿児島高専の教職員を代表して、心からお祝いと歓迎の意を表します。皆さんを新たな仲間として鹿児島高専にお迎えすることは、私たち教職員にとって大きな慶びであります。

皆さんは、目標としてきた鹿児島高専への入試を突破し、念願が叶ったという喜びと、高専での新しい生活への期待に胸を膨らませていることと思います。鹿児島高専の恵まれた教育環境を思う存分に活用して、大きく成長してください。

ご家族の方々にも、心からお慶び申し上げます。皆様が大切に育てこられたお子様が、鹿児島高専でその能力をさらに大きく伸ばすことができるよう、私たち教職員も全力を尽くしたいと思います。

まず、本科に入学された皆さんにお話します。現在、全国には51校の国立高専があり、この春、皆さん方を含め、全国で約一万人の新入生が入学式を迎えています。

本校の正式名称は、独立行政法人国立高等専門学校機構鹿児島工業高等専門学校と言いますが、略して鹿児島高専と呼んでいます。高専という呼び名は、今や国際語になっています。

それは、皆さんの諸先輩が卒業後、産業界等で有為な人材として立派な活躍をされてきたことで、高専の教育システムが国際的に高く評価されているからに他なりません。

高専本科の教育目的は、「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成する」と学校教育法にあります。

この目的の中にある“学芸”とは、“学術”と“技芸”を意味しています。これを、高専において専門的に教授される内容に則して言えば、学術およびその応用技術です。また、“職業に必要な能力”とは、単に特定分野の職業に必要な専門的、技術的能力のみならず、一般職業人として、また、社会人として必要な知的、道徳的能力も含まれています。

本日より皆さんは鹿児島高専の学生であります。学生という呼び名は、高等教育機関でのみ使用できるものです。高専は高校ではなく大学と同じ高等教育機関であり、皆さんは今日から生徒ではなく学生と呼ばれることとなります。学生とは自分の意志で学び、自分の行動に責任をもてる人を意味します。皆さんは今まで中学校の先生方、学習塾の先生方の親切な与えられた指導を受けてきた訳です。学生となった皆さんは、これからは自ら積極的に計画を立て、先生方からその人柄や知識を皆さんの栄養として吸収してください。大いに頭を回転させ、先生方を困らせる質問を用意し、授業を楽しいものにしてください。

ただ、これからの高専での生活は、今までの中学校と相当違ってくることを覚悟しておいてください。勉強も難しくなりますし、何よりも自己責任が強く求められるようになります。

しかし、決して心配することはありません。授業で分からないことがあれば、放っておかず、積極的に先生方に聞きに行ってください。その他、学校生活のことなどで悩みがあれば、何でも皆さんの相談に応じますので、遠慮なく教職員に相談してください。皆さんが困難を克服して成長していかれることが、私たち教職員にとって何よりの喜びであります。私たち教職員は皆さんの学びを全力で支えています。

専攻科に入学された皆さん、専攻科は高専における教育の基礎の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門的知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する人材を養成することを目的としています。

これまでに修得した基礎力を基に実践力を磨き、初心を忘れることなく、充実した学生生活を過ごすように、一層研鑽を積んで下さい。そして、後輩のよきお手本となり、後輩たちを温かく指導して下さい。人は人と交わり、指導することにより、一段と成長します。存在感のある先輩として活躍することを期待します。

さて、私が皆さん全員に期待する技術者は、知識を武器として活動し、既存の常識を超える新たな発明や発見をし、そのことを通じて世界を舞台に、人類社会に貢献するような技術者です。

皆さんは、これまでたくさんの知識を身につけることに努力されてきたことと思います。これからは、持っている知識の多さよりも、持っている知識を組み合わせることで解を導く力、すなわち「考える力」を身につけてほしいと思っています。一般的な試験には基本的に正解が存在します。しかしながら、高専の学びでは、どうすれば正解に辿り着けるのか誰にも分からないものがあります。そもそも正解があるのかも分からないのです。そこで求められるのは、単なる知識ではなく、「考える力」なのです。

今やインターネットや人工知能などを使って新しい事業を生み出す第4次産業革命が注目を集め、世界は大変革時代を迎えています。科学技術の発展は、かつて人類が抱えていた多くの問題を解決しましたが、同時に新たな問題を発生させました。例えば、資源の枯渇、環境破壊、世界金融不安、地域間の格差拡大等です。これらは地球規模の深刻な問題であり、人類の存続を脅かしています。

これらの課題は、いずれも難問ですが、皆さんにはぜひ「考える力」を身につけ、人類の未来のために、それぞれの専門を生かして、これらの諸問題を解決することに挑戦し、貢献してほしいと願っています。

もちろん、専門以外の分野すなわち、文学、歴史、芸術、科学などの豊かな教養を養って広い視野を持つことも重要です。

特に、現代の社会が期待する技術者は、ただ漠然と無反省に自己中心で物事を考えたり、行動する人ではなく、他人を思いやる心、奉仕の心、周りの人を大切にする心を持った技術者なのです。

最後になりますが、これからは自ら積極的に計画を立て、本校でしっかりと学ぶことができれば、就職、進学どちらの進路をとっても、皆さんの前途には、輝かしい未来が開かれています。鹿児島高専の学生であることに誇りをもって大いに学業に励み、学生生活を有意義なものにしてください。

これからの学生諸君の実り多い高専生活を心から祈って、式辞とします。

令和2年4月5日

鹿児島工業高等専門学校長

水 室 昭 三